

外でも、人が集まる場所へ行かない

外にいても、マスクをしないで話したり、道路ぎわに人が集まって大声を出したりすれば、飛まつで感染する可能性があります。できるだけ人が少ない道や時間をえらんで、人ごみをさげましょう。



いちど もう一度、しっかり かんせんたいさく 感染対策を しましょう！

あたたかく、さわやかな季節になって、外に出かけたくくなりますね。でも社会生活と感染対策の両方を大事にするためには、これまでよりもっと、ひとりひとりの協力がひつようです。出かけるときは、マスクをして飛まつを出さないようにしましょう。手をいつも清潔にしてください。

また、外出自粛要請が出ていれば、出かけなくてもいいときや、急いで行かなくてもいいときは、出かけないでください。

マスクをしていても、大きな声で話したり歌ったりしない

マスクをしていても、まったく安全なわけではありません。とくにエレベーターや電車の中など、しきられた場所では、なるべく話をしないでください。



お酒を飲む会へは行かない

お酒に酔うと、感染対策のことを忘れて、大声で話したり、マスクをしないで話したりしがちです。それでは感染のリスクが高くなります。



自分の体のぐあいに注意しましょう

出かけるときには、熱、せき、のどの痛みなどがなければ、確認してください。少しでもぐあいが悪いときには、出かけないでください。



かんせん 感染がこれ以上広がらないよう、しっかり ぎょうりよく 協力してください。

よこはまし しんがた 横浜市で新型コロナウイルスについてきくところ

1日24時間 いつでも

よこはまし しんがた 横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター(帰国者・接触者相談センター) TEL: 045-550-5530 FAX: 045-846-0500

ワクチン接種についてきくところ

TEL: 0120-045-070 (9:00~19:00 土よう・日よう・祝日・休日もOKです) FAX: 050-3588-7191 ※耳の不自由な人のためのFAX番号です。

「広報よこはま」には、イベントのお知らせがあります。どのイベントでも新型コロナウイルス感染症が広がらないように対策をしています。参加するときは、指示をまもって、感染対策に協力してください。

しんがた 新型コロナウイルスについての情報は2ページを見てください

だれでも安全・安心にくらせるまちのために

4月から新しい年度が始まって、1か月たちました。新しい学校や仕事で、この春から横浜で生活し始めた人も、たくさんいるでしょう。地域の人たちが安全に安心してくらせるように、自治会町内会のみなさんが活動しています。自治会町内会では、防災訓練、防犯パトロール、まちをきれいにする活動、子どもや高齢者の見まもりなどにとりくんでいます。またお祭りや運動会をして、みんなが仲よくなれるようにします。地域防災拠点は、大きな地震などのとき、みんなが避難生活をするところです。これも、地域の人たちが中心になって運営します。また感染症対策として、オンラインでイベントや会議も開かれています。

地域の活動に参加すると、自分のまちをもっとよく知ることができて、そこがもっと好きになるでしょう。今は実際に人と話をするのがむずかしい状況です。でも、地域の人たちが関係を強くして、安全安心にくらせるように、横浜市もしっかりおてつだいしていきます。

4月から、高齢者施設で新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。「集団接種」は5月17日の週から始まる予定です。「個別接種」は6月になってから始まる予定です。4月の終わりごろから、80歳以上の人から順番に、接種券を送ります。



よこはましちょう 横浜市長 はやし ふみこ 林 文子

コロナによるきびしい状況がつづいています。でも、これまでの対策から、私たちは多くのノウハウを学びました。市民のみなさん、感染リスクが高くなるころへは行かないで、基本的な感染症対策をしっかり行ってください。私たちひとりひとりの対策が、ふつうの生活とにぎやかなまちをとりもどすことにつながります。横浜市は、2021年度も「くらし・経済対策」をはじめとして、所得が低い子育て世帯への追加支援など、必要なとりくみを進めていきます。これからも、感染症対策をいっしょうけんめいに行いながら、全力で経済を元気にする活動をしていきます。

しんがた 新型コロナウイルス せっしゅ ワクチン接種について

4月14日の情報にもとづくお知らせです。

こうれいしゃ せっしゅ 高齢者の接種がいつ始まるのか

■**集団接種**(公会堂やスポーツセンターなどの特設会場で行います)

5月・6月にどのくらいのワクチンが入るか、国から情報が出されます。それにもとづいて、5月17日の週から開始します。



■**個別接種**(病院や診療所で行います)

6月に入ってから始める予定です。

しゅうだんせっしゅ かいじょう 集団接種の会場

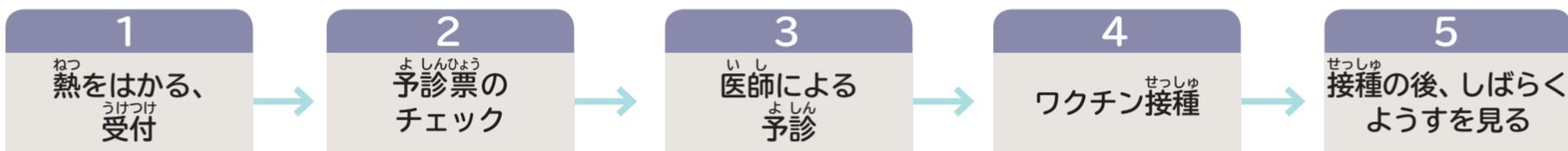
横浜市ではつぎの会場で集団接種をします。自分が住んでいる区ではない会場に行ってもいいです。会場は、だんだんにふやしていく予定です。

つるみく区 鶴見区	つるみこうかいどう 鶴見公会堂
かながわく区 神奈川区	かながわこうかいどう 神奈川公会堂
にしく区 西区	にしこうかいどう にしちく 西公会堂・西地区センター
なかく区 中区	ぎのうぶん かいかん なか 技能文化会館・中スポーツセンター
みなみく区 南区	みなみこうかいどう 南公会堂
こうなんく区 港南区	こうなん 港南スポーツセンター
ほどがやく区 保土ヶ谷区	ほどがやく 保土ヶ谷スポーツセンター
あさひく区 旭区	あさひ 旭スポーツセンター
いそごく区 磯子区	いそご 磯子スポーツセンター
かなざわく区 金沢区	かなざわちく 金沢地区センター
こうほくく区 港北区	こうほくこうかいどう 港北公会堂
みどりく区 緑区	みどりこうかいどう 緑公会堂
あおばく区 青葉区	あおばこうかいどう あおば 青葉公会堂・青葉スポーツセンター
つづきく区 都筑区	つづきこうかいどう 都筑公会堂
とつかく区 戸塚区	とつか 戸塚スポーツセンター
さかえく区 栄区	さかえ 栄スポーツセンター
いずみく区 泉区	いずみこうかいどう 泉公会堂
せやく区 瀬谷区	せやく 瀬谷スポーツセンター

※会場に行くときは、なるべくバスや電車など、公共交通機関を使ってください

しゅうだんせっしゅかいじょう せっしゅ 集団接種会場での接種のながれ

集団接種会場でワクチン接種をうけるときは、つぎのようになります。



市民のみなさんのワクチン接種ができるように、市内のあちこちで、準備をしています。

ワクチン接種について、最新の情報は、横浜市や厚生労働省のウェブページを見てください。

横浜市 新型コロナワクチン

検索



こじん いつ個人へのお知らせが来るのか

個別の通知には、接種券など、つぎのものが入っています。
※市からの通知は、発送する日からとどくまでに、何日か、かかります。

発送する日	受けとる人
4月23日(金よう)	80歳以上
4月30日(金よう)	75歳以上
5月10日(月よう)	70歳以上
5月14日(金よう)	65歳以上

- ワクチン接種のお知らせ
- ワクチン接種券
- 予防接種についての説明書
- 予診票 (=いまの体の状態や前にかかった病気などを書きます)

せっしゅ 接種までのながれ

かならず 必ず予約してください

- 個別通知をうけとる**
- 接種をうける日にちと時間・場所を予約する**
 - 接種をうけるために、必ずインターネットか電話で予約してください。
 - 個別通知には、どのように予約するか、お知らせが入っています。
 - 予約のうけつけは、5月3日9:00に始まる予定です。
- 接種をうける準備をする(接種の日)**
 - 前もって予診票に必要なことを書いておいてください(会場に行ってから楽です)。
 - 体温をはかって、熱があるときや、体のぐあいが悪いときには、接種をうけるのをやめて、個別通知に書いてある「予約用の電話番号」に連絡してください。
 - 会場には、肩を出しやすい服で来てください。
- 接種する日に 接種券/必要なことを書いた予診票/本人かどうか確認できる書類(マイナンバーカード、健康保険証、運転免許証など)を持っていくもの**
- 会場で接種をうける**
 - 接種するのに、お金はかかりません。

ていしよとく こそだ せたい 低所得の子育て世帯への 子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)支給事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長くつづいています。所得が低いひとり親世帯の生活をたすけるために、子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)を支給します。

※ひとり親ではない世帯には、べつの支援をする予定です。

- 支給する金額は児童1人について、5万円
 - 2021年4月分の児童扶養手当をうけている人は、もうしこまなくても、もらえます。(そのほかのひとり親世帯ならば、もうしこむ必要があります。)
- ※もうしこむときに、審査があります。くわしいことは、ウェブページで見てください。

横浜市 子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)

検索



【きくところ】子育て世帯生活支援特別給付金 横浜市コールセンター(2022年3月31日まで)

TEL: 0120-694281(月~金ようく祝日・休日はお休み)9:00~17:00 FAX: 045-641-8424

インターネットを使った横浜市のコンテンツ

いつでもどこでも「広報よこはま」が読めるウェブサービス カタログポケット

パソコンやスマートフォンアプリで「広報」を読める無料サービスです。いろいろな言語への自動翻訳や音声読みあげができます。文章を読みやすくするポップアップ機能もあります。



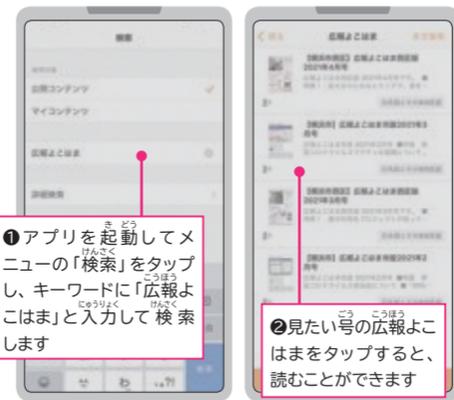
▲「カタログポケット」のアプリアイコン

ぜひカタログポケットで「広報よこはま」と検索してください。

※「広報よこはま」は毎月1日に更新する予定です。



カタログポケット **検索**



①アプリを起動してメニューの「検索」をタップし、キーワードに「広報よこはま」と入力して検索します

②見たい号の広報よこはまをタップすると、読むことができます

横浜市 AIチャットボットを使ってください

4月1日から、横浜市ウェブページ※で、AIチャットボットをはじめました。電話のかわりに、いろいろなことを説明してくれます。「すまい・暮らし」、「戸籍・税・保険・マイナンバー」、「子育て・教育」、「健康・医療」、「福祉・介護」、「市営交通」、「公共施設」など、市が行うこと全般について答えてくれます。

※5月1日の段階では、市役所トップページ、それぞれの区役所トップページ、交通局トップページなど



①「AIチャットボットに質問」をタップ(クリック)します

②「チャットをはじめよう」をえらびます

③知りたい情報をメッセージランに入力するか、質問項目の中からえらんでください

「もっと知りたい!」は 広報よこはま Plus

このロゴマークが目じるしです



毎月、「広報よこはま」の紙面にのせられなかった情報や写真、現地リポートなどをウェブだけで公開します。ぜひこちらも読んでください。



広報よこはま Plus **検索**

【きくところ】 広報よこはま Plus とカタログポケットについて
横浜市 AIチャットボットについて

市民局広報課
市民局広報聴相談課

TEL : 045-671-2332 FAX : 045-661-2351
TEL : 045-671-2117 FAX : 045-663-3433

熱中症を予防しましょう!

去年の5月から9月に、熱中症で病院に運ばれた人は市内で1,284人でした。梅雨の後、急に気温が上がると、熱中症のような症状で、救急車で運ばれる人が多くなります。夏をすずしくすごすように工夫しましょう。少しずつ何度も水分をとって、すずしい場所で休けいして、熱中症を防ぎましょう。

熱中症を予防する4つの対策

すずしい服を着て、日がさや帽子を使う

少しずつ何回も水分をとる

たくさん汗をかいたときは、スポーツドリンクなどで塩分もとりましょう

日ごろから健康づくり

部屋の温度を調節する

高齢者への注意

- のどがかわかなくても、水分をとりましょう。
- 暑さを感じにくくなっているので、部屋の温度をいつもチェックして、エアコンなどをじょうずに使いましょう。



小さい子どもはとくに注意!

- 晴れた日には、地面に近いほど気温が高くなります。小さい子どもは大人よりも暑い環境にいます。
- 小さい子どもは体温がうまく調節できません。大人が注意してあげましょう。



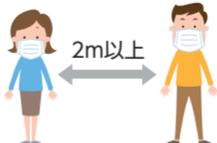
こんな日は熱中症に注意!

- 気温が高い
- 風が弱い
- 湿度が高い
- 急に暑くなった



マスクをしているので、とくに気をつけましょう

気温・湿度が高い中でマスクをしたり、マスクをして運動したりするのは、とくに注意が必要です。外でほかの人とじゅうぶんな距離(2m以上)がとれるときは、マスクをはずして熱中症を防ぎましょう。



熱中症になったときは

- すずしい場所へつれていく。
- 服をぬがせて、体を冷やす。
- 水分・塩分をあたえる。



意識がないとき、よんでも返事をしないときは、すぐに救急車をよんでください!

救急車をよぶかどうかまよったら

- 横浜市救急相談センター〈毎日・24時間いつでも〉 TEL : #7119 または 045-232-7119
- 横浜市救急受診ガイド

パソコンやスマートフォンで、急に病気になったとき、けがをしたとき、すぐ病院に行ったほうがいいかどうか教えてください。

横浜市救急受診ガイド **検索**



【きくところ】 消防局救急課
健康福祉局保健事業課

TEL : 045-334-6413 FAX : 045-334-6785 または
TEL : 045-671-2451 FAX : 045-663-4469

みんなが住みよいまちにしたい たすけあい、ささえあう

自治会町内会

自治会町内会は、地域のみなさんが安心して気持ちよく生活できるように、いろいろな活動をしています。

いつも何気なく見ていることの中に、じつは自治会町内会がしてくれていることがいくつもあります。

みんなが住みやすい、もっといいまちにするために、自治会町内会の活動を知ることから始めてみませんか。

※どんな活動をするかは、自治会町内会によって、いろいろです。



災害にそなえて、必要なものを備蓄したり、訓練をしたりします。災害のときに地域でみんながたすけあえるようにします。いざというときに、地域のつながりが力を発揮します。



学校への行き帰りに子どもを見まったり、ひとりぐらしの高齢者に声をかけたりします。地域の人どうしがあいさつすれば、まちが元気になります。

防犯



自分たちのまちを自分たちでまもります。安全で安心なまちのために、犯罪を防ぐパトロールをします。夜道を明るくする防犯灯を点検します。

まちを きれいに



ごみを集めるところを管理したり、ダンボールなど資源ごみを集団回収したりします。まちの花だんにきれいな花をうえたり、落ち葉のそうじをするのも自治会町内会です。

広報



ごみの出しかた、子育てサロンの情報など、地域のやくだつ情報を掲示板などでお知らせしています。また、毎月の「広報よこはま」や「議会だより」も自治会町内会が配っています。

自治会町内会に入りたいときは、住んでいる区の地域振興課に連絡してください。

鶴見区	045-510-1687	南区	045-341-1235	磯子区	045-750-2391	青葉区	045-978-2291	泉区	045-800-2391
神奈川区	045-411-7087	港南区	045-847-8391	金沢区	045-788-7802	都筑区	045-948-2474	瀬谷区	045-367-5691
西区	045-320-8387	保土ヶ谷区	045-334-6303	港北区	045-540-2235	戸塚区	045-866-8412		
中区	045-224-8131	旭区	045-954-6091	緑区	045-930-2232	栄区	045-894-8391		

【きくところ】市民局地域活動推進課 TEL: 045-671-2317 FAX: 045-664-0734

5月は「自転車月間」です 自転車保険に入りましょう！

神奈川県条例で、自転車に乗る人は、自転車保険に入らなければいけません。1億円近い賠償金をはらうような事故も起きています。必ず保険に入りましょう。そして、自転車に乗るときはルールをまもりましょう。



※保険料や補償の内容は、保険会社によってちがいます。協力する事業者の自転車保険のリストを横浜市ウェブページにのせました。参考にしてください。また火災保険や自動車保険の特約(=特別の約束)で、自転車保険が付いていることもあります。

横浜市 自転車保険 [検索](#)

【きくところ】道路局交通安全・自転車政策課
TEL: 045-671-2323
FAX: 045-663-6868

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のあいだの 首都高速道路の料金について

大会の期間中、首都高速道路の夜間の料金は割引になります。昼間の料金は高くなります。

	時間帯	料金	対象
夜間割引(首都高すべて)	0:00~4:00	50%割引	ETC搭載車
料金上乘せ(都内の区間)	6:00~22:00	1,000円上乘せ	マイカーなど*

【期間】7月19日(月よう)~8月9日(月よう・祝日)、8月24日(火よう)~9月5日(日よう)
※障害者手帳を持っている人が運転したり、乗ったりしている車、福祉関係の車は、ETC搭載車ならば、6月30日まで(その日の消印があればOK)に東京都に申請してください。料金の上乗せをしなくてもよくなります。申請書は、区役所の高齢・障害支援課でもらえます。ウェブページからもダウンロードできます(オンラインでもうしこむこともできます)。「有料道路における障がい者割引制度」をうけている車は、申請する必要はありません。くわしいことは、東京都が首都高速道路のウェブページで見てください。

2020 首都高手続き [検索](#)

【きくところ】2020料金上乘せ 対象外申請窓口
TEL: 03-6627-6319 FAX: 03-5388-1354